

令和7年1月24日

福島県政記者クラブ加盟社 各位

## 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業に連携大学として採択

日頃から本学に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび福島大学は、山梨大学が提案大学、福島大学が連携大学として、日本学術振興会公募の令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に申請し、採択されました。

詳細については、山梨大学のリリース（別紙）をご覧ください。

（本学のお問い合わせ先）

【事業採択に関すること】

福島大学 研究・地域連携課

電話：024-548-8084

メール：kyoudo@adb.fukushima-u.ac.jp

【研究に関すること】

福島大学 共生システム理工学類支援室

電話：024-548-5213

メール：kyosei@adb.fukushima-u.ac.jp

【広報に関すること】

福島大学 総務課広報係

電話：024-548-5190

メール：kouho@adb.fukushima-u.ac.jp

令和7年1月24日

各報道機関 御中

国立大学法人 山梨大学

## 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業の採択について

山梨大学は、日本学術振興会(文部科学省)が公募した「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に申請し、採択されました。

本事業は、地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により、研究力強化を図るための環境整備を支援するものです。

山梨大学は、提案大学として「クリーンエネルギー研究拠点」を申請し、採択されました。

採択された、事業の概要については別紙のとおりです。

### 【学長表明】

本学では学長リーダーシップのもと、本事業を起爆剤とし、大学改革を推進してまいります。教職学協働をベースとした組織マネジメントにより、本学の強み・特色ある分野を中心としたシーズをもとに、より実効性のある新たな産学官金の組織を構築しイノベーションのハブとします。これを中心に、持続的な地域課題の解決と社会的インパクトの創出を目指すことで、全国の地方国立大学のモデルとなるような大学改革に邁進してまいります。

### 【文部科学省 HP】

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2023/mext\\_00014.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2023/mext_00014.html)



### 【事業採択についての問合せ先】

山梨大学 学術研究部 研究推進課  
TEL:055-220-8030  
E-mail:kensui-tr@yamanashi.ac.jp

### 【研究についての問合せ先】

山梨大学 クリーンエネルギー研究センター  
センター長 入江 寛  
TEL/FAX:055-220-8092  
E-mail:hirie@yamanashi.ac.jp

### 【広報についての問合せ先】

山梨大学 総務企画部 総務課 広報・渉外室  
TEL:055-220-8005, 8006/FAX:055-220-8799  
E-mail:koho@yamanashi.ac.jp

【クリーンエネルギー研究拠点の事業計画】

提案大学:山梨大学 連携大学:福島大学

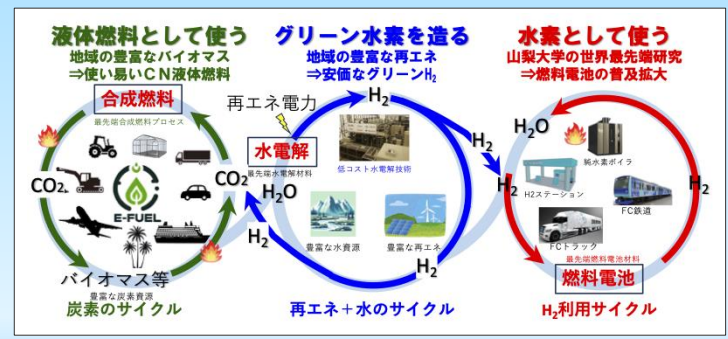
- 事業名：グリーン水素を核に世界屈指の研究力を強化し、グリーンイノベーションで地方創生を先導
- 事業概要：グリーン水素分野で国際トップとなる革新技術へのブレイクスルーによる世界的トレンド形成と地方創生を掲げ、国内外の頭脳循環や学内諸学融合による研究の卓越性、地方自治体及び民間企業等との連携による研究と社会実装、新規教育プログラムによる研究と教育の好循環のビジョンの下、全学の研究力向上戦略を牽引する。  
なお昨年度、同施設整備事業が採択され、研究施設(ゼロエミッションみらいラボ)が本年3月に竣工予定である。
- 事業期間：令和7年4月～令和12年3月(5年間)
- 事業規模：総額 約50億円(本学分)

山梨大学ビジョン：グリーン水素を核とした世界屈指の研究力を有し、グリーンイノベーションにより地方創生を先導する大学

<p><b>研究卓越性</b> クリーンエネルギー研究の世界的 トレンド形成と技術革新の実現</p>	<p><b>地球規模のイノベーション</b> 世界中の知恵と人々が集まり、 変革をもたらすイノベーションハブ</p>	<p><b>社会貢献・地域の中核</b> グリーン水素の社会実装を牽引、 モデル地域社会を実現</p>	<p><b>研究と教育の好循環</b> カーボンニュートラル社会実現を担う高 度人材の持続的輩出</p>
--	--	---	--

**山梨大学発  
技術革新への  
ブレイクスルー**

- 水素製造触媒  
貴金属量8割減
- 高温高耐久・  
高性能燃料電池
- 水素×CO<sub>2</sub>合成  
燃料活性世界一



**グリーン水素  
社会普及を牽引**

- グローバル  
企業への  
技術移転
- モデル地域  
社会の確立、  
他地域展開



世界随一の研究拠点：原子～肉眼スケール&基礎材料～デバイスの時空間階層を超えて物質・熱移動現象を解明

材料科学×AI 自動自立実験システム構築	「トランススケール電荷移動エネルギー工学」確立	地球～宇宙の水・エネルギー・生命循環解明
----------------------	-------------------------	----------------------

研究生産性の向上	国際影響力の向上	課題	社会実装プロセス具体化	担い手不足の解消
----------	----------	----	-------------	----------

**先鋭研究強化イニシアチブ**


- トップ研究者/新鋭若手の獲得と定着  
業績に応じたFlexible給与・人事体系
- 高度支援人材GR/EENへの優先的配置
- 博士課程学生の処遇改善

イニシアチブによる課題解決

**研究強化・イノベーション創出本部**  
学長主導ガバナンス, リソース運用,  
イニシアチブ全学展開  
研究戦略室による情報分析・執行部補佐

グローバルニュートラルエネルギー研究機構  
**GR/EEN**

- クリーンエネルギー研究集約
- ゼロエミッションみらいラボ  
(研究棟・施設整備事業で設立)



**人材育成イニシアチブ**

- 国内唯一の学部～博士一貫教育  
クリーンエネルギー専門コース
- 国際連携教育 大学院Dual Degree
- 山梨大×福島大連携科目, 人材養成講座開設

**多階層頭脳循環イニシアチブ**

- 国際共同拠点構築  
山梨大⇄海外拠点 渡航促進
- 国内エネルギー研究強化 12機関と共同
- 学内「諸学融合」GR/EEN×先鋭異分野

**社会実装加速化イニシアチブ**

- 研究開発⇄社会評価 循環システム構築
- 次世代エネルギーシステム技術研究組合  
(FC-Cubic, 産学官参画) 拠点誘致
- インキュベーションセンター新設